

「町長と語る会」を開催

11月16日から12月6日までの7日間、町内の10公民館を7つの会場に分けて、町主催による「町長と語る会」を開催しました。

各地区で抱えている課題・問題等が提案され、町長または担当課長が回答致しました。今回は、特に代表的なものについて、回答内容を取りまとめましたので報告致します。

なお、個人的な質問等については省かせていただきました。来年度についても、引き続き「町長と語る会」を実施し、住民の貴重な提案や要望、質問等お伺いしますので多数の参加をお願いします。



提案・要望・質問	回 答	提案・要望・質問	回 答
町道工事につき大雨が降った時に笑喜上の水源地の水が濁る恐れがあるため、法面にモルタルの吹き付けをしてもらいたい。	町道宿利原線の改良工事の進捗により、同区間の改良工事を実施する時に対応することと、笑喜上自治会の水道管理の役員さんとも協議を済ませております。なお、要望箇所の施工は、平成26年度以降になる予定です。	高尾線町道から県道の出口の改良について	県道への出口部分の改良は、県道の改良と同時に対応したいと考えております。県へは、県道神川・内之浦線の改良工事の要望をしてあります。
岩元線道路改修工事について	工事がストップした状態になっていますが、現在、隣接国有林の買収を計画し、九州森林管理局と協議中であり、工事着手を保留することにしました。今後の工事は多額の資金を要する為、部分改良も含めて工事内容を検討していきます。	町道命苦中野線道路改修工事を早期にしてほしい。	舗装路盤の痛みの激しいところを予算の許す範囲で、町内の他の路線との調整を図りながら、改修を進めて参りたいと思います。
中萩入口、毛戸口バス停前の側溝に雨が降ると水があふれて困っている。	湧水状況等を見ながら、平成25年度に調査・測量設計と改修工事を実施します。	町道笹原線全面拡張工事について	この路線につきましては、ご承知のとおり、道路の左右とも深い谷になっている所が多く、工事費の割には、工事延長が伸びないという事情があり、かなりの工事費と年数を要することになります。このようなことから、切り土で対応できる部分を中心に改良していく、局部改良を視野に入れて検討していきます。
毛戸口入口から大尾消防車庫前の白線が消えている。	白線については、平成25年度に引き直す予定です。	町道京ノ峯線改良工事について	今年度、雑木等の支障木の伐採、法面の草刈りを実施しました。この路線は、離合しにくいところもありますが、一部で拡張やカーブカットもしており、通行量が少ないことから、現道のままで、通常の通行には支障はないと思っていますので、しばらく様子を見させて下さい。
町道厚ケ瀬線高尾から厚ケ瀬自治会間に急カーブがあり、交通に危険があるので改良してほしい。	毎年、緊急度、危険度が高いと思われる路線や箇所を優先して予算計上し、計画的に工事を行っているところです。現在のところ、この路線は改良を計画する状況にはないと云う事でご理解いただきたいと思います。	町道半下石線の全面改良について	改良要望の区間が約380mあるようです。この区間は、道路幅としては、部分的には広いところもありますが、通行量が少ないことから路側に土が溜まり、雑草が生えて、通行可能部分を狭めているようです。改良方法として、道路に溜まっている土を除き、路面の排水対策と舗装の改良を検討しているところですが、今しばらく期間をいただきたいと思っております。
有害鳥獣の被害が多い為、電柵を設置してほしい。	近年イノシシ等の個体数が増え、集落近くの田畑まで出没して、被害を及ぼしている状況です。対策として、猟友会に対して12基の箱ワナを配布して、捕獲の強化を図ってきました。平成23年度からは狩猟免許取得に係る講習会の費用を県・町が負担して狩猟者の増加を目的として実施しています。なお、電気柵の補助については、受益面積1ha以上で受益者3名以上等の条件となっていますが、周辺の方々と連携して申請下さい。	迫線全面改修工事（排水路）について	事業費がかなり高額である為、町単独事業での実施は難しいので、採択できる国・県の補助事業等を現在探している状況であります。
毛戸口から才原公民館の間にカーブがあるが、見通しが悪く危険な為カーブミラーを設置してほしい。	担当課に現地を確認させましたので、緊急性や危険性を十分に議論して、平成25年度以降検討します。	町道白水線から南部開発団地までの農道谷線及び町道から安水茂徳さん宅入口までの農道小崎線のアスファルト改修工事を実施してほしい。	現地を担当課に確認させ、平成25年度当初予算で対応します。